

開発行為・土地の形質の変更概要書

行為の目的		
区域の面積	㎡	
のり面又は擁壁	勾配	
	構造・材料	
	緑化の方法	
区域内の樹木の保全方法及び区域周辺の緑化の方法		

景観形成基準対応説明書【開発行為・土地の形質の変更】

行為の名称			
行為の場所			
基準	主に配慮した内容	適・否	※審査欄
法面はできる限り緩やかな勾配とし、緑化などにより、周辺景観との調和に配慮する。		適・否	
擁壁等の構造物を設ける場合は、素材と構法の工夫や構造物の前面の緑化などにより、周辺景観との調和に配慮する。		適・否	
敷地内にある良好な樹木はできる限り保全するよう配慮する。		適・否	

※審査欄は、記入しないでください。